エレベーター用インターホン
ＥＺ－ＲＯ６－ＣＫ　カゴ内インターホン子機 取扱説明書

１．概　　要

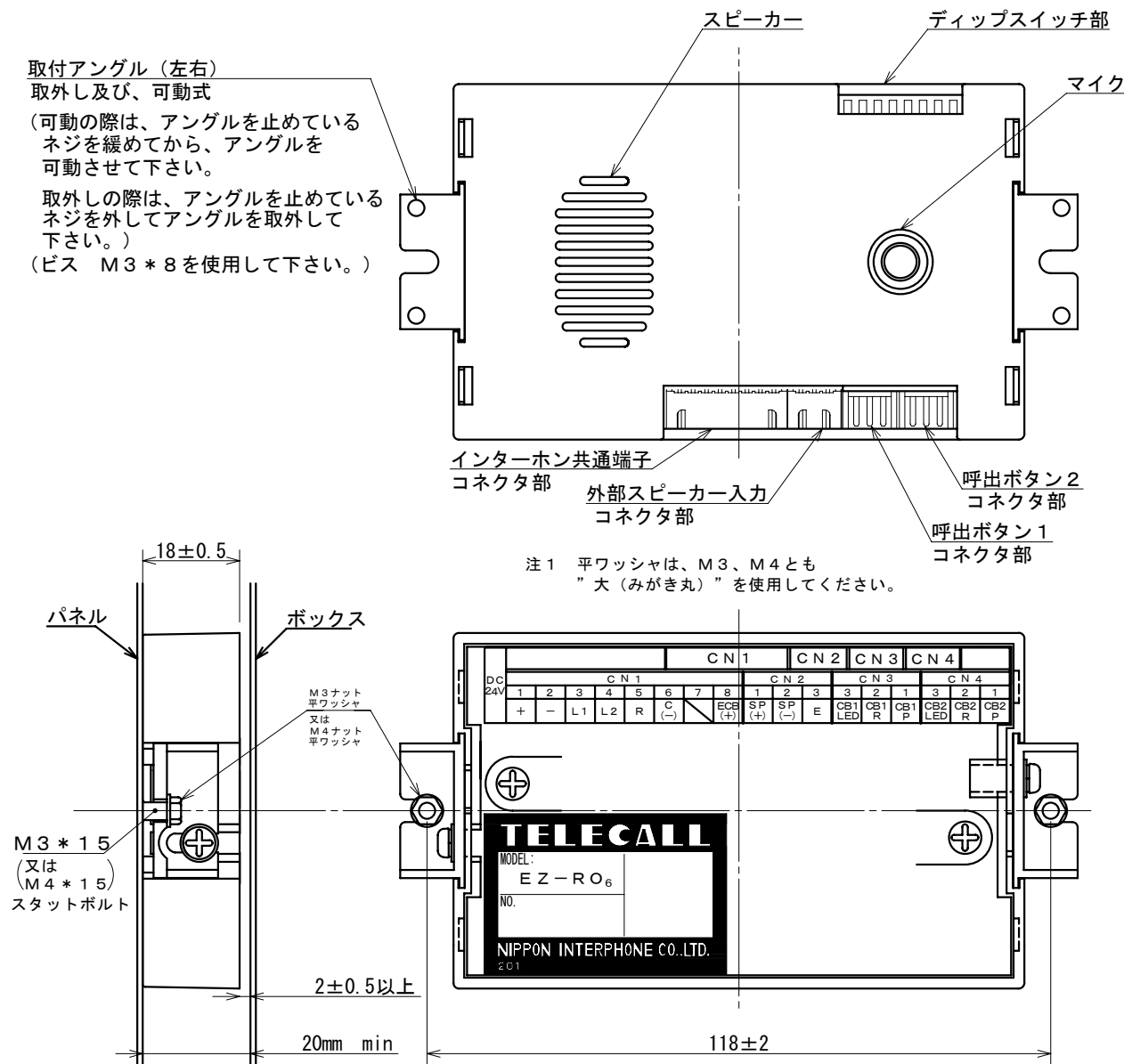
本機々は、カゴ内にインターホン子機、エレベータ機械室、管理室等に親機（２４Ｖ）を設置し、非常時又は保守調整時に、親子間の連絡に用いるものです。
また、内蔵機能として呼出保持制御、呼出遅延制御、表示灯制御（呼出応答灯）機能及び外部スピーカー入力機能を有しており、設置場所に合わせた機能設定を行うことが出来ます。

２．取り扱い方法

-1. 子機が呼出ボタンを押しますと接続されている親機全部のブザーが鳴り応答した親機と通話が出来ます。

-2. 子機はスピーカ、マイクによる同時通話です。

-3. 通話は、子機１台に対し親機が１台が原則です。親機が２台、３台と同時に応答すると通話音が減少します。

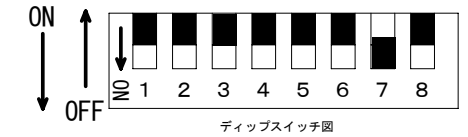
３．取付方法

※１　エレベーター用インターホン子機は、出来る限りパネルに密着取付けし、開口（音抜け）面積を大きく取るように、お願いします。
※２　子機本体スピーカ部の開口（音抜き）面積は、約２．５ｃｍ²です。子機本体スピーカー部の開口と表面パネル開口との一致開口面積を約１．７ｃｍ²以上（一致開口率で約７０％以上）程度となる様表面パネルの開口（音抜き）設計をお願いします。
※３　マイク部の開口（音抜き）は面積が少ない部分ではありますが、必ず一点正面に音抜きを設けるように、お願いします。

４．ディップスイッチ設定

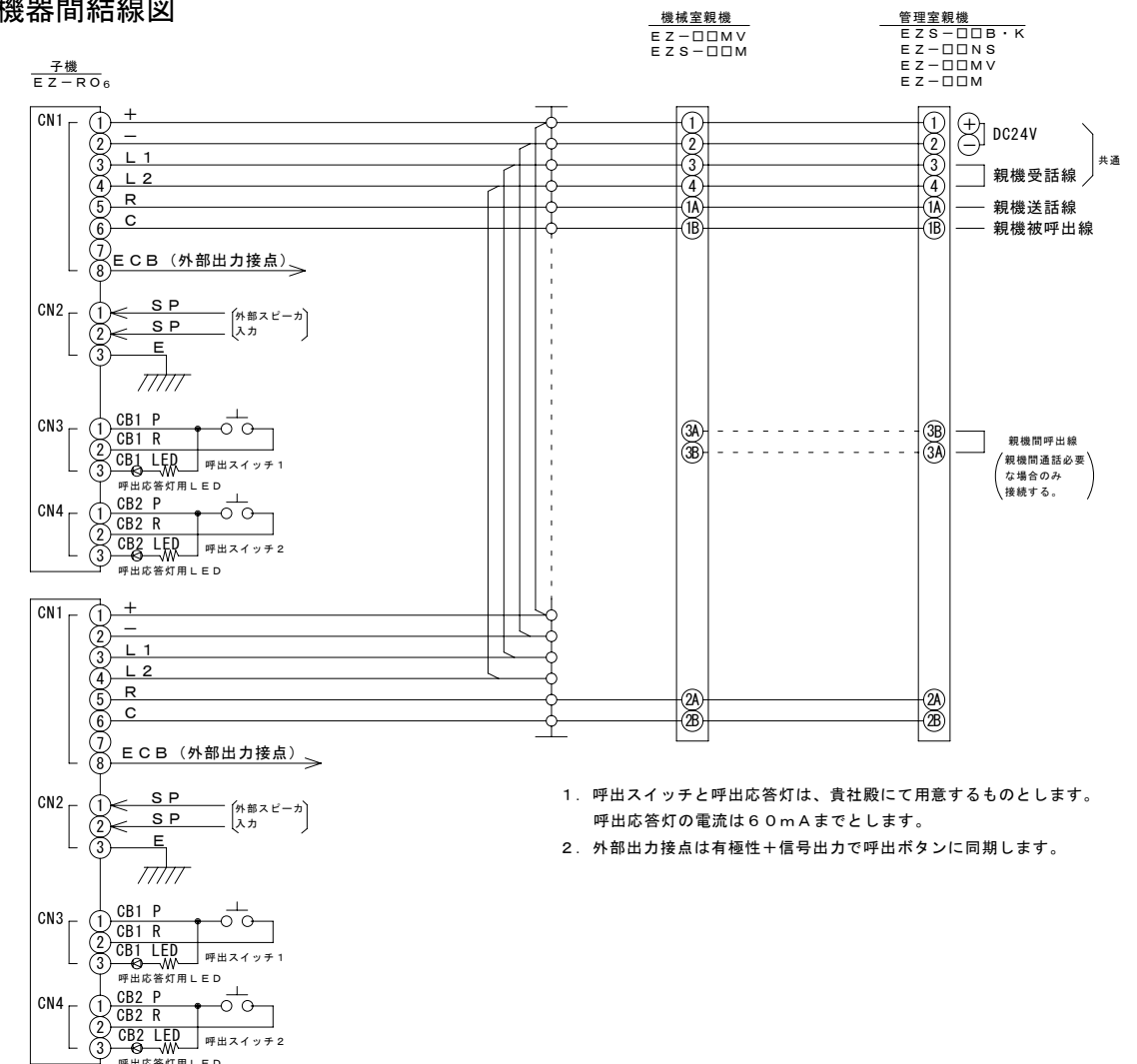
本装置はディップスイッチにより各種の設定を行うことが出来ます。
ディップスイッチの設定は、カゴ内取付前の状態で行ってください。

－１．ディップスイッチ設定方法

本装置はディップスイッチは下図のように各スイッチをＯＮ側又はＯＦＦ側に動かすことによって設定できます。

ＮＯ.	ＯＮ設定時
1	ＣＮ３（呼出スイッチ１）の遅延３秒設定ができます。 （ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁのNO.2と併用することにより、６秒の遅延が可能になります）
2	ＣＮ３（呼出スイッチ１）の遅延３秒設定ができます。 （ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁのNO.1と併用することにより、６秒の遅延が可能になります）
3	ＣＮ３（呼出スイッチ１）の保持の設定ができます。
4	ＣＮ４（呼出スイッチ２）の遅延３秒設定ができます。 （ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁのNO.5と併用することにより、６秒の遅延が可能になります）
5	ＣＮ４（呼出スイッチ２）の遅延３秒設定ができます。 （ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁのNO.4と併用することにより、６秒の遅延が可能になります）
6	ＣＮ４（呼出スイッチ２）の保持の設定ができます。
7	表示灯制御の設定が出来ます。 （ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁのNO.7とNO.8併用することにより、 点灯及びﾌﾘｯｶｰの制御が可能になります）
8	

ディップスイッチ図

・出荷時の設定
遅延及び保持の設定は行っていません
貴社殿にて、設置場所に合わせた機能設定を行ってください。
表示灯は、呼出時フリッカー　応答時点灯に設定されています。
（ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ図　参照）

５．機器間結線図

１．呼出スイッチと呼出応答灯は、貴社殿にて用意するものとします。
　　呼出応答灯の電流は６０ｍＡまでとします。
２．外部出力接点は有極性＋信号出力で呼出ボタンに同期します。